



教育委員会 教育長賞 **優秀賞**

手稲中学校  
保護者と先生の会 **「手稲」** (紙面)

講評

行動制限解除後の気持ちを3年生に聞いた「特集コロナ後の世界」は読み応えがあり、3年生の思いが伝わってきました。



毎日新聞社賞 **優秀賞**

太平南小学校  
保護者と先生の会 **「太平南」** (紙面)

講評

活動の一つ一つが簡潔な説明と写真で紹介され、すっきりとしたレイアウトも効果的で、読みやすく感じました。



日本教育新聞社賞 **優秀賞**

義務教育学校 福移学園PTA  
**「福移第1号」** (紙面)

講評

義務教育学校として新たにスタートを切った意義を踏まえ、校長先生と会長の力強い挨拶や、校舎の印象的な表紙とともに、各部

の活動への意欲がしっかりと伝わる広報誌です。今後のPTA活動のさらなる充実を期待させる内容となっています。



北海道通信社賞 **優秀賞**

太平中学校  
父母と先生の会 **「TAIHEI」** (紙面)

講評

①目を引く表紙  
②全体の色調の統一感  
③立候補制に変わったPTA活動の紹介など、担当者の熱意が伝わる力作です。



PTA協議会 会長賞 **優秀賞**

札苗北中学校  
父母と先生の会 **「いちい」** (紙面)

講評

交通安全指導、花トピアなどの活動が視覚的にわかりやすく紹介されています。最終号として有終の美を飾られました。



# 広報紙まつり 表彰式および交流会

令和7年2月17日(月)  
ちえりあ6階講堂



今年度は、ご応募頂いた園・学校や、広報紙活動に興味のあるPTA会員様など、幅広く参加していただきました。審査は①企画性②アイディア③バランス(見やすさ・読みやすさ)④「PTA活動」の紹介、の4つの基準で行い、札幌市教育委員会、毎日新聞社、日本教育新聞社、北海道通信社、札幌市PTA協議会からそれぞれ最優秀賞・優秀賞を各1点ずつ、計10作品が選ばれ表彰されました。また、審査委員長の北海道通信社参与村上直史様から、入賞作品各紙の優れている点や改良の余地がある点について丁寧にアドバイスをいただき、今後の広報紙作りの参考になりました。来年度もたくさんのご応募をお待ちしております。



# 広報紙まつり 作品展示

2月17日(月)~2月20日(木)  
ちえりあ1階ロビー

ご参加いただいた園校のうち、ご許可をいただいた紙面とPDF、ホームページを、出展された園校からのメッセージや講評とともに展示しました。また今回は、各区P連で作成された広報や、本紙のバックナンバーも展示しました。



ご参加頂いた作品からは、出来ない理由を探すのではなく、出来る可能性を求めた想いが、たくさん伝わってきました。心を真似て次のステップへ。「つながる」輪が増えると良いですね。

何を載せたら  
良いの?

- ・検索エンジンなどで、テーマを探してみる
- ・子どもたちの成長を願う「保護者」の姿
- ・周年行事等での、PTA活動や記念品の記録
- ・PTAが主体となって行う行事(おまつり)などの過程
- ・防災・交通安全に関する、PTA活動 など



活動の際は、  
関わる方同士のリスペクト  
(敬意)を忘れずに。

過去数年分の受賞広報紙は、PTA会員の方に貸し出しをすることができます。希望される方は、札幌市PTA協議会事務局(671-2371)までご連絡ください。

受賞おめでとうございます!!

第47回 札幌市PTA  
広報紙まつり受賞作

敬称略。( )内は、当協議会へご送付頂いた際の種類です。

広報紙まつりって?

各单位PTA広報活動のより一層の充実と向上を  
願い、また、札幌市のPTA活動振興のため広報紙ま  
つりを行います。この機会に、各单位PTAが日頃より  
努力されている広報紙づくりの成果を展示し、情報  
交換の一助となることを願うものです。(実施要領より)



教育委員会 教育長賞 **最優秀賞**

稲積小学校 父母と先生の会  
「かわらばん」(PDF)

講評

「保護者にPTA活動のイメージを具体的にもつ  
ていただくための広報紙」を目指し、豊富な写真  
と簡明な文で紹介しています。最初にPTA主催の  
夏祭り、次に各月の具体的な活動、最後に広報紙に  
寄せる熱い思いを載せた構成も秀逸です。「すぐる」での配信や、区P連の研修  
会で学んだアプリを活用して自宅での編集作業を可能にするなど、アイデア満  
載の企画でPTAと学校や地域の繋がりがよく表れていました。今後の示唆に富む  
広報紙です。



毎日新聞社賞 **最優秀賞**

北野台小学校 父母と先生の会  
「スマイルきたのだい」(紙面)

講評

学校のステキなところを、子供、保護者、先  
生、それぞれに聞いた冒頭から目を引きまし  
た。付箋を貼ったようなデザインも楽しく、読  
みたくなる仕掛けにあふれています。他との違  
いを感じたのは、PTA事務局員の紹介です。私たち新聞記者も「顔の見える」  
記事を書きたいといつも思っています。読者との距離が縮まるからです。活動  
が皆さんの人となりや顔写真とともに紹介され、読者はきっと親近感を抱きな  
がら読んでくれたでしょう。



日本教育新聞社賞 **最優秀賞**

厚別北小学校 父母と先生の会  
「PTAってなあに?」(かるがも合併号)  
(紙面)

講評

PTAの在り方が問われる中、ボランティア制の  
導入などの組織改変を進め、「PTAってなあに?」  
を特集にPTA活動のあるべき姿と現状をわかり  
やすく掲載し、会員に深い印象を与える内容とし  
て高く評価されました。その多彩でメッセージ性豊かなページ構成は、読み応え  
があり、保存版としての価値があります。また、保護者アンケートや学校周辺マッ  
プ、施設紹介の要点を押さえた説明が紙面にさらなる魅力を加えています。PTA  
事務局の誠実な取り組みと創意工夫が伝わる、素晴らしい広報紙です。



北海道通信社賞 **最優秀賞**

八軒中学校 朔風会PTA  
「爽風」(紙面)

講評

読み手に優しい「文字量」で思わず「読みたく  
なる広報紙」です。内容もPTA活動を中心に構成  
され、4ページにPTAと学校の雰囲気が凝縮さ  
れ、カラフルで統一感ある色調も感じられ、読み  
やすい作品に仕上がっています。広報係と撮影ボランティアさんとのチームワ  
ークが抜群と感じました。また、PTAの委員会活動が簡潔にまとめられ、ページ  
の割り付けも秀逸です。紙面から、学校とPTAが車の両輪であるというメッセージが伝  
わり、時代の変化に合わせた広報紙づくりを感じました。



PTA協議会 会長賞 **最優秀賞**

みどり小学校 父母と先生の会  
「Midori」(紙面)

講評

広報活動をあまり経験したことがない委員が  
試行錯誤しながら作成されたとのことですが、  
イラストの一部を自ら作成するなど、非常に洗  
練されたデザインが目を引き、誰もが手に取り  
たくなるような構成だと感じました。体育発表会、クラブ活動、委員会活動、児童  
へのアンケート、学校生活の流れに加え、開放図書館、児童参加型イベント「みど  
りワイワイひろば」をはじめとするPTA活動の紹介など、記事の内容も充実して  
います。

第47回 札幌市PTA広報紙まつり  
全体審査評

全ての広報紙(作品)に目を通させていただき、それぞれ工夫を  
凝らした魅力的な紙面を拝見し、大変感激いたしました。広報紙に  
対する意識が変化する中であっても、このように情熱をもって作成  
いただきましたことを、審査委員一同、嬉しく思っております。



●心がこもった熱い広報紙がたくさん!

全体を通して感じたのは、これまで培われ、引き継がれ  
てきた「取材力と構成力の高さ」、そして作成に関わる  
様々な「表現方法の工夫」でした。デジタル化の波は急速  
に進み、これまでは、圧倒的に紙媒体の印刷スタイルが中  
心でしたが、WEB上の作成も増え、即時に配信すること  
で保護者の方が手軽に閲覧できる環境も整ってきました。  
広報紙を取り巻く状況が以前より厳しさを増す中、ど  
の作品にも、「それでも伝えたい!」という熱いメッセージ  
があふれていました。

●表現の多様化で“広報の灯り”をともし!

WEB、PDF、すぐる配信等、紙媒体以外からのご応  
募があり、編集方法もPTAの事情で工夫され、広報部(委  
員会)のほか、PTA事務局員による作成、ボランティア制  
など、PTA組織の改編に伴う“多様化”も見られます。ま  
た、紙面には時代を表す二次元(QR)コードも有効に使わ  
れ、デジタル化に対して、PC・スマートフォン両方に対応  
し「この方法だったらやれそうでは?」「SNSを駆使して  
何とか作成できそう!」と、作品づくりから臨場感ある“や  
り取り”や“息づかい”が伝わってくるようでした。

●「いま」を「未来」につなげたい!

昨年12月の市P協広報委員会編集・発行「PTAさっぽろ」に特集が組まれました。単Pへのアンケート結  
果、制作会議・紙面配信のメリットなど、素晴らしい取材内容で、広報紙づくりの課題と展望も明らかにした、  
最高のお手本となりました。その紙面に、私の心に残った“キャッチフレーズ”がありました。こんな時代だか  
らこそ“いま”を“未来”につなげませんか。何と心に響く短い文句でしょう。アナログ・デジタルを問わず、  
“いまの記録”を今後につなげていくのが広報の一つの役目です。作品は減りましたが、広報紙の必要性に  
対する回答とは、“いま”のPTAの姿を歴史として後世に伝え、卒業アルバムと同様に、“未来”に目を通すとき、  
その“歴史”が懐かしく思い出される……。教育で言う「振り返り」の効果から、私たちは成長を実感し、  
前向きな気持ちにさせてもらえることでしよう。会員の意識は変化してきている昨今ですが、次回も様々な  
表現方法を駆使され、“広報紙の灯り”を受け継ぎ、再生・復活できることを心から願っています。また、気軽  
に参加できる広報紙づくり、スタイルにとらわれない「作品」を心よりお待ちしております。